ご支援のお願い

㈳エヘガザルは乗馬体験を通し、子どもたちが生き生き過ごすことを柱として、様々な施設などの訪問も行っています。このような活動に賛同してくださる皆さまのご協力をお待ちしております。

■賛助会員

趣旨に賛同し、支えていただくための会員です。

賛助会費 3,000 円／1 年

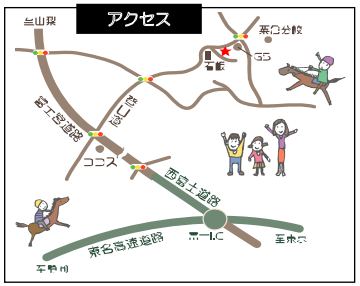
■特別寄付

牧場運営には馬、馬具、馬房をはじめとした設備費、人件費など多額の資金が必要です。牧場維持のための資金の援助として寄付をお願いします。

■会費と寄付の振込先

郵便口座　00870-8-204945
㈳エヘガザル

２月３日静岡市の青葉公園で行われた「ちゃりフェス静岡」で引き馬。通りがかりの人はビックリ。



自動車の場合　東名高速道路を使う方

富士 IC→西富士道路→しばらく進んだ後、右折して富士山スカイライン(登山道)へ進む。
→山宮の信号を約２，５キロ直進。
看板あり富士インターより約 30 分
★電車、バスなど公共の交通機関はありません。

富士宮市山宮 3645-100
☎090-4409-0401

春のスケジュール

4月	1(月)、2(火) 3(水)、5(金) 6(土)、7(日)	ファームスティ　9:30～16:00
	8(月)、10(水) 12(金)、13(土) 14(日)	野あそび会各曜日ごとに発足式 平日 15:30～　土・日 14:00～
	15、22(月)	勤労青少年ホーム乗馬講座　19:00～21:00
	20(土)	ボランティアミーティング　13:30～
	21(日)	第１回児童館乗馬教室　9:30～11:30
5月	3(金)、4(土)	御殿場「樹空の森」で引き馬
	5 (日)	浅間大社春の大祭流鏑馬でキク練行に参加
	13、20、27(月)	勤労青少年ホーム乗馬講座　19:00～21:00
	7、14、21、28(火)	市スポーツ教室乗馬講座　10:00～11:30
	12(日)	ぱからん(障がいを持つ子の乗馬会)　10:00～
	22(水)	ボランティアミーティング　13:30～
	25(日)	第２回児童館乗馬教室②　9:30～11:30
6月	3、10、17、24(月)	勤労青少年ホーム乗馬講座　19:00～21:00
	11、18、25(火)	市スポーツ教室乗馬講座　10:00～11:30
	15(土)	カタローヤ　18:30～
	16(日)	ボランティアミーティング　10:00～
	29(土)	根北公民館乗馬体験　10:00～

ふたつのビックニュース ！

＜新しい厩舎の建設＞

完成予想図

エヘガザルは、4月中頃より工事に入ります。現在の厩舎につなげて、新たに6頭入れる厩舎と、その続きに、雨天のときやみんなで作業をするとき使う部屋を作ります。完成は６月中旬から下旬にかけてとなります。カタローヤも雨天でも延期しないでできそうですね。ボランティアの方にも、ミーティングや作業をするときに使っていただきます。その他、この部屋を使った様々な計画を考えています。みなさんのアイディアも募集しております。

＜新しい馬の仲間入りのお知らせ＞

4月上旬に馬が1頭増えます！北海道からはるばるやってきます。5月で2歳になるサラブレットの牝馬で、ホープより2ヶ月お姉さんです。毛色、たてがみの色、ひたいの星などホープによく似ています。ホープの馴致と調教は順調に進んでいます。理解力があり、自分のやることを2～3回で覚えています。今度くるサラブレットもホープと同じように初期の馴致から始めます。楽しみですね。ホープと新しい馬をみんなで人間といい関係が取れる、素晴らしいセラピーホースに育てましょう！

エヘガザルのホームページをご覧ください。子どもたちや馬の様子がブログで見られます。

“馬にふれて、人に遠る”
発行元：一般社団法人**エヘガザル富士山牧場**
エヘガザル　モンゴル語　「始まりの場所」
サリフ　モンゴル語で「風」を表すことば。
Vol.28

馬とともに、楽しく、真剣に、やさしく

今年は入学式を待たずに、桜が満開となりました。真冬の訪れはいつもより早く、12 月から寒さが厳しかったのに、春が来たら、牧場のまわりも一挙に花が咲き始めました。

3 月 20 日に野あそび会の集大成といえる発表会がありました。子どもたちは、みんな元気に馬に乗りました。また、長期の野あそび会会員の子どもたちは、年齢の低い子どもたちの面倒もよく見ながら、確かなうまさで騎乗している姿は、自信と楽しさに溢れ、見ている大人も大変感心していました。ひとりひとりの成長が、手に取るように見えました。

春休みのファームスティは、日によって人数は違いますが、15 人を超える日が多く、初めて出会った子ども同士も楽しく参加しています。馬はそれぞれの子どもと、特別な友達になるようです。

また、人との関係が取れにくい 4 歳の子が、引き馬の途中に、ちょっとだけ自分で手綱を持って乗り、「はやあし」というと馬が走り、「とまれ」というとしっかり止まってくれるなどの経験が面白く、コミュニケーションの出来た喜びで、満面の笑顔を見せてくれる様子は、周りにいる誰をも幸せな気分に誘い込みます。

さて、4 月新年度を迎え、厩舎の建築、新馬の馴致、ホースセラピーに向けた準備など課題は山盛りです。昨年 11 月から始まった、「馬の力で人の健康をとりもどすボランティア講座」は、時間の調節の難しいなか、多くの方が修了にこぎつけ、あとわずかの方もいれると 8 割を超える修了となりました。ご苦労様でした。新年度の活躍に期待しております。

（まさこ）

活　動　報　告

■ 「馬の力で人の健康を取り戻すボランティア作戦」
ボランティア養成講座が修了。新たなスタートを ！

スーさんが代表で修了証を受け取りました

昨年 11 月半ばからスタートしたボランティア養成講座は、３月 23 日に修了式を迎えました。高校生から 80 代まで 49 名もの申込みがあり、32 名が全過程を期間中に修了しました。7 名ほどがあと少しで修了ということですから、修了率の高さに驚きました。特別寒い期間中にも関わらず、みなさんの熱心な取組みに敬意を表します。ここで経験し学んだことが、それぞれの場でも役に立ち、また牧場としても大きな力となることと期待が膨らみます。

これからが本番です。ボランティアのみなさん、よろしくお願いいたします。

講座４『馬との関係づくり』常田修児さん

自分の馬との豊富な体験から、馬との関係作りに大切な 8 項目ー愛情を持って接する、馬と人の心は比例する、馬をよく見る･･･等々、受講者の質問を受けながら具体的に話されました。

1/19　安田寛二氏講演会
『広汎性発達障がいの子どもたちの理解に向けて』

「広汎性」とは、障がいが運動機能、感覚、言語、認知、社会性など広い範囲にわたること、自閉症スペクトラムの人と定型発達の人のあいだの境界もはっきりした区切りはないこと、特別な配慮を必要とする特性を持っている人に対して、それぞれのニーズに合わせた支援が必要なことをていねいに話していただきました。

2/8　梅木康裕氏講演会
『ホースセラピーには馬をセラピーホースに、馬の馴致について』

動物によるセラピーの効果が言われているが、中でも人を乗せることができるホースセラピーは効果も大きいと期待されています。馬は大動物なので、安全・安心が第一の課題です。馬の馴致について映像も交えたていねいでわかりやすい講演でした。

翌日は、梅木さんによるホープが初めて人を乗せるための馴致を行いました。９時半ホープ登場。丸馬場で鞍をつける準備として背中にブランケットを乗せることから始め、鞍を乗せて人が乗ることを受け入れるまでを順調にやり終えるまでおよそ２時間。ホープもひとつひとつ納得の上で進む見事な馴致でした。

■ 3/20 野あそび会発表会

調馬索で速歩

野あそび会の発表会は、年々見ごたえのある内容になっています。

▲サリフの表紙の写真は４頭の部班運動です。それぞれ大きさの違う馬たちを、遅れることなく走らせています。

▲調馬索運動でしっかり駈歩もだしました。

▲流鏑馬はキクを先導に速歩で矢を放つ。

▲カドリールは花形。観覧の大人たちも唸らせる乗りっぷりです。

▲２月に検定試験を行い、一年間の到達と今後の課題を書いた検定書をもらいました。

キクを先導に流鏑馬

カドリール：中央で交差

検定書をもらい結果を確認

■ １月と３月のぱからん（障がいを持つ子どもの乗馬会）

ぱからんでは、どの馬に乗るか決めてから、１回目、まずは馬に乗って歩きます。大体ははじめから鞍に座れますが、泣き出したり、乗るのを嫌がる子もいます。そんな場合、馬に触れるだけにしたり、泣いても乗せて歩き出すと泣き止むこともあるので、ケースバイケースで対応します。

①

乗ることができたら、はじめはゆっくり歩き、それから「バンザイできるかな？」（**写真①**）「両手でパンと拍手」などと声をかけます。

慎重なＭちゃん、鞍に触っていますが小さく拍手をしています。（**写真②**）　「飛行機できるかな？」にも、前より高く鞍から完全に手が離れています。（**写真③**）

④

②

③

２度目に乗るときはゲームをします。

１月には、キラキラのレイを選んで運び、お母さんの首にかけしました。（**写真④**）

３月は、大きさ、感触の違うボールをひとつ選んで運び、お母さんのかごに入れました。（**写真⑤**）見ている人たちが「入った、入った」と拍手すると、ニッコリ笑顔で「もう一回」といいました。

⑤

写真⑥のＨ君はエヘガザルに来るようになってもう６年。はじめはヘルメットをかぶるのを嫌がり、ボール運びも取るとすぐに投げてしまいました。今では来るなりヘルメットをかぶり、自分でたずなをとって馬に指示をだして、右にも左にも曲がります。自分で「はやあし!」と声をかけて、速歩もだせるようになりました。

⑥